



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月30日

上場会社名 内外トランスライン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9384 URL <https://www.ntl-naigai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 常多 晃
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 三根 英樹 (TEL) 06-6260-4800
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 2021年9月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	15,370	42.9	1,662	171.1	1,733	171.0	1,160	164.3
2020年12月期第2四半期	10,758	△4.8	613	△14.6	639	△13.3	439	△12.5

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 1,495百万円(481.8%) 2020年12月期第2四半期 256百万円(△23.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	119.25	—
2020年12月期第2四半期	45.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	14,473	11,162	72.5
2020年12月期	12,784	9,864	72.0

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 10,495百万円 2020年12月期 9,201百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	19.00	—	17.00	36.00
2021年12月期	—	22.00			
2021年12月期(予想)			—	18.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	21.6	2,310	63.7	2,400	61.7	1,680	97.5	172.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4月30日に発表いたしました2021年12月期の業績予想につきましては精査中であり、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	10,698,000株	2020年12月期	10,698,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	961,379株	2020年12月期	969,971株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	9,730,463株	2020年12月期2Q	9,720,314株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、当社は2021年8月6日に決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料につきましては、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)におきましては、世界各国で新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、一部の国や地域では感染拡大前の生活を取り戻しつつあるものの、変異ウイルスの感染が広がるなど、依然予断を許さない状況が続いています。昨年秋以降のコンテナ不足等による運賃高騰につきましては、全世界で経済活動が活発になるにつれて、需要の勢いが収まらず、高止まりの状況が続いています。

このような状況の中、当社は船会社と交渉して全力で海上コンテナスペースの確保に努めてまいりましたところ、既存顧客のみならず新規顧客の需要にもお応えすることが出来、数量、売上ともに前年を大きく上回る水準で推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は15,370百万円(前年同四半期比42.9%増)、営業利益は1,662百万円(同171.1%増)、経常利益は1,733百万円(同171.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,160百万円(同164.3%増)と前年比において増収増益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 日本

日本における国際貨物輸送事業につきましては、混載貨物輸出を主力としております。当第2四半期連結累計期間における売上高は、単体につきましては、海上コンテナスペースの確保に注力した結果、利益率の高い輸出混載貨物や、売単価の高い地域へのフルコンテナの取扱数量が増加し、増収増益となりました。

国内子会社におきましては、株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパンは通常海上輸送する重量物が海上コンテナ不足の影響で航空便での輸送になった案件が増えたことや、新規取引獲得により増収増益となりました。また、フライングフィッシュ株式会社は、食品輸入の取扱量が順調に推移する中、輸入運賃が高騰した影響で増収増益となりました。

この結果、日本セグメントにおける売上高は、10,908百万円と前年同四半期と比べ3,455百万円(46.4%)増加し、セグメント利益(営業利益)も1,112百万円と前年同四半期と比べ766百万円(221.4%)増加しました。

② 海外

当社グループはアジア地域及び米国に連結子会社11社を有しております。これらの海外子会社では日本からの貨物の取扱が売上高の大半を占めておりますが、近年では日本発着以外のサービスも強化、推進しております。当第2四半期連結累計期間におきましては、日本からの貨物が増加した一方、フォワーディング案件や航空貨物案件も順調に取り込んでまいりました。

この結果、海外セグメントにおける売上高は、4,462百万円と前年同四半期と比べ1,157百万円(35.0%)増加し、セグメント利益(営業利益)も567百万円と前年同四半期と比べ283百万円(99.9%)増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は14,473百万円(前連結会計年度末比1,689百万円増加)となりました。変動の主な理由は、投資その他の資産のその他が152百万円減少した一方、現金及び預金が707百万円、売掛金が634百万円、有形固定資産その他が447百万円増加したこと等によるものであります。

負債は3,310百万円(同391百万円増加)となりました。変動の主な理由は役員退職慰労引当金が300百万円減少した一方、買掛金が309百万円、未払法人税等が191百万円、固定負債その他が98百万円増加したこと等によるものであります。

また、純資産は11,162百万円(同1,298百万円増加)となりました。変動の主な理由は、利益剰余金が994百万円、その他有価証券評価差額金が36百万円、為替換算調整勘定が238百万円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末に比べ707百万円増加し、7,515百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは1,190百万円の増加(前年同四半期は702百万円の増加)となりました。主な収入は税金等調整前四半期純利益の1,733百万円、仕入債務の増加280百万円、主な支出は売上債権の増加582百万円、法人税等184百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、412百万円の減少（前年同四半期は35百万円の減少）となりました。主な支出は有形固定資産の取得362百万円、差入保証金の差入47百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、264百万円の減少（前年同四半期は220百万円の減少）となりました。主な支出は配当金165百万円、リース債務の返済54百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの2021年12月期における連結業績は、昨年秋以降海上コンテナ不足と運賃高騰が継続し、想定を超えて業況が進捗していることから、売上高のほか、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益それぞれにおいて、2021年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想を6月23日に上方修正いたしました。

新型コロナウイルスの感染については、ワクチン接種が広がっておりますが、未だ収束の見通しはついておりません。また、海上コンテナのひっ迫については、依然厳しい状況が続いているものの、一時に比べるとスペース確保が容易となった一部航路も見受けられ、全体として運賃は高止まりの中2021年末までには相応の落ち着きを取戻す可能性もあります。

よって2021年12月期通期連結業績予想につきましては目下精査中であり、予想が固まり次第公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,807,798	7,515,379
売掛金	1,834,883	2,469,731
その他	656,655	705,568
貸倒引当金	△6,262	△7,295
流動資産合計	9,293,075	10,683,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,990,913	2,015,970
その他(純額)	672,053	1,119,153
有形固定資産合計	2,662,966	3,135,124
無形固定資産		
のれん	51,989	36,318
その他	65,076	58,762
無形固定資産合計	117,066	95,080
投資その他の資産		
その他	721,157	568,682
貸倒引当金	△9,735	△8,483
投資その他の資産合計	711,421	560,199
固定資産合計	3,491,454	3,790,404
資産合計	12,784,529	14,473,788

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,236,027	1,545,571
未払法人税等	160,918	352,643
賞与引当金	7,384	28,432
役員退職慰労引当金	300,000	—
その他	622,181	672,708
流動負債合計	2,326,511	2,599,356
固定負債		
退職給付に係る負債	396,527	416,202
その他	196,864	295,345
固定負債合計	593,392	711,548
負債合計	2,919,904	3,310,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	243,937	243,937
資本剰余金	253,073	268,610
利益剰余金	9,799,148	10,794,089
自己株式	△989,013	△980,311
株主資本合計	9,307,145	10,326,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,665	41,463
為替換算調整勘定	△108,871	129,724
退職給付に係る調整累計額	△1,471	△1,567
その他の包括利益累計額合計	△105,678	169,620
非支配株主持分	663,158	666,937
純資産合計	9,864,625	11,162,884
負債純資産合計	12,784,529	14,473,788

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	10,758,098	15,370,417
売上原価	7,836,028	11,234,907
売上総利益	2,922,069	4,135,509
販売費及び一般管理費	2,308,741	2,472,613
営業利益	613,328	1,662,895
営業外収益		
受取利息	17,040	8,561
為替差益	—	33,366
不動産賃貸料	14,845	16,080
助成金収入	21,390	3,757
その他	9,832	16,123
営業外収益合計	63,109	77,888
営業外費用		
支払利息	1,910	2,798
為替差損	30,670	—
支払手数料	2,953	3,104
その他	1,080	1,276
営業外費用合計	36,614	7,179
経常利益	639,823	1,733,605
税金等調整前四半期純利益	639,823	1,733,605
法人税、住民税及び事業税	161,197	371,184
法人税等調整額	7,531	157,981
法人税等合計	168,728	529,166
四半期純利益	471,094	1,204,439
非支配株主に帰属する四半期純利益	32,006	44,120
親会社株主に帰属する四半期純利益	439,088	1,160,318

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	471,094	1,204,439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,202	36,797
為替換算調整勘定	△197,962	253,949
退職給付に係る調整額	39	△100
その他の包括利益合計	△214,125	290,646
四半期包括利益	256,969	1,495,085
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	258,681	1,435,616
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,711	59,469

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	639,823	1,733,605
減価償却費	132,787	135,763
のれん償却額	15,993	16,193
賞与引当金の増減額(△は減少)	20,086	20,468
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	17,337	15,650
貸倒引当金の増減額(△は減少)	957	△856
受取利息及び受取配当金	△18,410	△11,744
支払利息	1,910	2,798
為替差損益(△は益)	29,944	△31,510
助成金収入	△21,390	△3,757
固定資産除売却損益(△は益)	308	△101
売上債権の増減額(△は増加)	149,998	△582,442
たな卸資産の増減額(△は増加)	117	△131
仕入債務の増減額(△は減少)	△150,613	280,543
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△300,000
未払費用の増減額(△は減少)	△41,097	△18,189
長期未収入金の増減額(△は増加)	21	1,636
その他の資産の増減額(△は増加)	56,302	92,589
その他の負債の増減額(△は減少)	40,636	12,354
小計	874,711	1,362,870
利息及び配当金の受取額	18,410	11,744
利息の支払額	△1,910	△2,798
法人税等の支払額	△209,865	△184,775
助成金の受取額	21,390	3,757
営業活動によるキャッシュ・フロー	702,736	1,190,797
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△21,824	△362,548
有形固定資産の売却による収入	12	578
無形固定資産の取得による支出	△14,782	△5,052
差入保証金の差入による支出	△1,361	△47,767
差入保証金の回収による収入	1,060	2,757
その他	1,619	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,274	△412,032
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△55,110	△54,669
配当金の支払額	△165,178	△165,372
非支配株主への配当金の支払額	—	△2,142
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△42,197
財務活動によるキャッシュ・フロー	△220,289	△264,381
現金及び現金同等物に係る換算差額	△110,131	193,197
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	337,041	707,580
現金及び現金同等物の期首残高	6,319,440	6,807,798
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,656,481	7,515,379

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,453,177	3,304,921	10,758,098	—	10,758,098
セグメント間の内部売上高 又は振替高	174,536	370,988	545,525	△545,525	—
計	7,627,714	3,675,910	11,303,624	△545,525	10,758,098
セグメント利益	346,114	283,799	629,913	△16,585	613,328

(注)1.セグメント利益の調整額△16,585千円には、のれん償却額△15,299千円、及びその他調整額△1,285千円が含まれております。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,908,209	4,462,207	15,370,417	—	15,370,417
セグメント間の内部売上高 又は振替高	419,166	952,314	1,371,481	△1,371,481	—
計	11,327,376	5,414,522	16,741,898	△1,371,481	15,370,417
セグメント利益	1,112,350	567,427	1,679,777	△16,881	1,662,895

(注)1.セグメント利益の調整額△16,881千円には、のれん償却額△15,499千円、及びその他調整額△1,382千円が含まれております。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。